

検討課題(案)

- ニーズ・需要面・販路開拓
 - ✓ 在外公館やジェトロなども活用した、主要国・地域やTPP参加国等ごとの具体的なニーズの把握、輸出が伸びそうな品目の分析。
 - ✓ 現地日本食レストランや訪日外国人なども通じた積極的なPR、クールジャパン戦略と一体的なニーズの掘り起こし戦略。
- 供給サイド
 - ✓ 品目ごとの、諸外国のニーズに応える国内生産のあり方（産地間連携による量的確保・ジャパンブランドの確立・輸出拡大に対応する国内生産の強化・転換）
 - ✓ これから輸出を試みようとする生産サイドに対する相談・アドバイス体制（商談のやり方、輸出の手続き、海外バイヤーとのコンタクト、外国における競合商品の動きなど）
- 流通・貿易
 - ✓ 生産サイドと諸外国のニーズとをつなぐ流通業者・貿易会社と生産サイドとの緊密な連携（契約や代金決済、各種証明書取得など）
- 物流
 - ✓ 生産サイドから諸外国までの物流の高度化・効率化（例：輸送時の鮮度保持・温度管理機能の向上による新鮮でおいしい商品・調理が簡単な商品の提供、生産者や物流業者等の多様な関係者の連携）
 - ✓ 国内での輸出拠点の構想
- 輸出環境整備
 - ✓ 民間事業者では解決できない諸外国の検疫措置・放射性物質規制への対応の一層の強化
 - ✓ 食品特有の輸出に関する規制や基準（残留農薬基準、HACCPなど）などの理解の促進と適合に向けた取り組み
- なお、タスクフォース(TF)においては、WGにおける議論を踏まえ、国別・地域別の輸出促進戦略案を策定。
また、実務的に事業者、農業者の海外展開をサポート。